

55 たらがとりであと 田楽砦跡

小牧長久手合戦の際に築かれた徳川家康・織田信雄方の砦。羽柴秀吉方の池田恒興の犬山城攻略により、落ち延びた残党が田楽の伊多波刀神社に集結していたものを、家康が自ら出向き、砦を造り守らせたのが始まりとされている。

関係武将等 徳川家康（とくがわいえやす）

住所 春日井市田楽町1789

アクセス 名鉄小牧線「間内駅」より北東2.6km、徒歩約40分。

目印等 長福寺東の住宅地が砦跡。昭和三十年代までは土塁の一部が残っていたが、その後の開発により消滅した。

入場料 無料

トイレ なし

駐車場 なし

休業日 なし

お問い合わせ なし



MAPCODE® 4684710*38

👍 近隣のおすすめスポット

伊多波刀神社

住所 春日井市上田楽町3454

その昔、板面に鳩の絵を描いて神に奉納したことから、伊多波刀（いたはと）の名がついたといわれる。江戸時代は毎年旧暦8月15日の例祭には境内で流鏑馬が行われていたが、現在は甲冑を着けた武者の行進と射的が行われている。参道の桜並木は市内の桜の名所の一つである。

戦国寄り道クイズ

Q55. 家康が造らせた田楽砦と宇田津砦を繋ぐ軍道とは？

イ. 東海道

ロ. 北海道

ハ. 大縄手道